

一二百萬市民諸彦に訴ふ 享樂の摩天樓三越の裏面に泣く

店員の生活苦

私共配達部員全部員は三越の長い間の酷使に堪へ兼ねて十八日 總同盟の應援を得て左の待遇改善を提出しました。

歎願條件

- 一、初任給一圓三十錢ヲ一圓五十錢トシテ下サイ
- 二、現乗務員ノ日給ヲ三十錢値上シテ下サイ
- 三、入社後三年迄ノ間ニ必ラズ店員トシテ下サイ
- 四、残業ハ日給ノ五割増トシテ下サイ
- 五、勤務時間中ノ傷害ハ公傷トシテ下サイ
- 六、傷害保證手當ヲ支給シテ下サイ
- 七、退職手當ヲ公表シテ下サイ
- 八、保證金ハ退職手當ト同時ニ支給シテ下サイ
- 九、今回ノ問題ニ關シテ絕對ニ犠牲者ヲ出サザルコト
- 十、労働組合ヲ絕對ニ壓迫セザルコト 以上

三越は今商店の利益を獨占すると言はれる程に一年九千八百萬圓の賣上で一切の經費を引去られた純利益は實に五百萬圓を上げてゐるのであつて、吾々の歎願事項の入れられない理由が何處にありますか。

然るに三越は團結を認められぬと言ふ横車をおして之が回答をさけたのです。
殊に二十二日の如きは從業員の大半を俗に言ふ、三越の地獄部室と言ふ所におしこんで、外より鍵をおろし従業員の不法監禁をしたり、或は卑劣にも、父兄及保證人を呼んで、總同盟より脱退を強要じでゐるのです。

私共は團結なくして吾々の生活改善の實現は出來ないと信じてゐます。
私共は此の三越の團結権蹂躪の暴虐に敢然決意しました。

三越の店員酷使五十年の歴史を破つて社會正義の爲めに奮起しました。

賢明なる市民諸彦よ、奥様方よ、

人道正義の戰ひです、何卒此の戰ひに識見ある御批判と、御同情を乞ふ次第であります。

日本労働 總同盟 中央合同労働組合本部

東京市芝區三田四國町二
電話三田(45)〇四三六番

三越 爭議團 本部

日本橋區本石町一ノ一五